

# AEDを使用した心肺蘇生法講習会を実施！

去る7月17日（火）、本学強化クラブであるラグビー部に対して、「AEDを使用した心肺蘇生法講習会」を実施いたしました。ラグビーは運動量も多く、心肺機能を最大限動かすスポーツであり、身体への激しい衝突等もあることから、是非心肺蘇生法をマスターして欲しいと、講習会を実施する運びとなりました。実習を伴った講習は新宮総合グラウンド屋内トレーニングルームにて17時00分から約1時間行われ、参加したラグビー部員は66名でした。講習会開催にあたり、ALSOK福岡支社営業部の方にご協力をいただいております、深く感謝致します。

講習中の部員は、配付資料と実習を何度も見比べる者や真剣に講習の様態に見入っている者など、皆集中し静かに学んでいました。講師からは、最後の挨拶の中で、「部員のみなさんの研修に臨む姿勢は、熱心で感心します。流石アスリートですね！」とお褒めの言葉を戴きました。

今回はラグビー部対象の講習でしたが、その他の強化クラブ、一般クラブサークル、そして学生を守る立場にある教職員を対象として講習会の開催を検討中です。  
(学務部 学生課)



学内に設置されている AED は以下の 2 機種があります



## 【心肺蘇生法の実施手順】 講習では、下記の手順を実践形式で学びました。

<p><b>① 反応の確認をする</b> 肩を軽く叩きながら「わかりますか？」 などと徐々に大きな声で 2～3 回呼びかけます。</p>	<p><b>② 大声で協力を求める</b> 「誰か来てください！人が倒れています。」 「あなたは 119 番へ通報してください」 「あなたは AED を持ってきて下さい。」と、指名して具体的に協力要請する。</p>	<p><b>③ 呼吸の確認をする</b> 胸または腹部の上下動を 10 秒以内で確認します。 普段どおりの息がなければ、直ちに胸骨圧迫を行います。</p>
<p><b>④ 胸骨圧迫を実施する</b> (人工呼吸実施する) 圧迫速さ：1 分間 100～120 回 圧迫の強さ：胸骨の下半分 5～6 cm 呼吸吹き込み長さ：1 秒</p>	<p><b>⑤ AED の電源を入れる</b> AED 到着後、緑のハンドルを引くと自動的に電源が入ります。</p>	<p><b>⑥ 電極パッドを傷病者に貼る</b> カートリッジから電極パッドを取り出し、表面に描かれている位置に貼ります。 (パッドが貼られると自動的に解析が始まります。)</p>
<p><b>⑦ 解析</b> 心電図が自動的に解析され、除細動が必要であれば点滅しているオレンジのボタンを押すように指示がでます。(解析中は身体に触れないこと)</p>	<p><b>⑧ 除細動を行う</b> ショックボタンを押します。 ● 声を出して、周囲の人が傷病者から離れるよう指示します。 ● 手振りでも傷病者から離れるように指示します。 ● 傷病者の身体に誰も触れていないのを確認します。 ● その後にショックボタンを押します</p>	<p><b>⑨ 直ちに心肺蘇生法を再開する</b> 胸骨圧迫を再開します。(呼吸吹き込み省略) (2 分間の心肺蘇生の後に AED が再度自動解析し、除細動が必要かどうか指示します。)</p>
<p><b>⑩ 救急隊に情報を伝える</b> 救急隊が到着するまで、AED の指示に従って繰り返します。 救急隊が到着したら、傷病者が倒れた時の状況と AED の使用状況について伝えましょう。</p>	<p>掲示期間 H-30-087 7月24日～8月10日</p> <p>この件のお問い合わせは広報課へ</p>	